

「あまみエフエム ディ！ウェイヴ」放送原稿<8月17日（金）放送分>

テーマ「郷土の偉人」

あまみエフエム ディ！ウェイヴをお聞きの皆様，おはようございます。鹿児島県立奄美図書館です。今週は，毎月第3週に，奄美にゆかりのある作家や偉人を紹介するシリーズ「郷土の偉人」の第5回目です。

一昨日8月15日は，終戦記念日でした。1945年8月15日正午，昭和天皇による終戦の詔書^{しやうしよ}の朗読放送，いわゆる玉音放送^{ぎよくおんほうそう}により日本の降伏が国民に公表されました。

日本政府は，8月15日を「戦没者を追悼し平和を祈念する日」とし，全国戦没者追悼式を主催しています。一般には，終戦記念日と称^{しょう}され，毎年，各地で平和集会が開かれています。

さて，奄美はといいますと，翌年の2月2日に「北緯30度以南，口之島^{くちのしま}を含む鹿児島県大島郡を日本から分離し，連合軍の直接占領下に置く」という覚え書きが全国民に公表されました。そして，奄美は本土から行政分離^{ぎやうせいぶんり}され，自由に渡航^{とこう}することもできなくなりました。奄美では，このことを「二・二宣言^{ににせんげん}」と呼んでいます。

その後，祖国復帰運動が全国的に広がりを見せ，1953年8月8日には，アメリカのダレス国務長官が来日し，「奄美群島を日本に返還する」と発表しました。これがいわゆる「ダレス声明^{せいいめい}」です。

そして，12月25日午前零時，約8年ぶりに奄美大島は正式に日本に復帰しました。当日は，名瀬小学校で復帰祝賀会が開かれました。奄美では，12月25日を「復帰の日」と呼び，毎年，おがみ山や名瀬小学校で当時を偲^{しの}ぶ集会が開かれています。また，奄美図書館でも「奄美群島日本復帰記念講演会」を開催しています。

いよいよ来年はその「日本復帰」から60周年の節目の年がやって来ます。それに向けた取組の情報交換会が，2月2日と8月8日の2回開催されました。今後も節目の日に合わせて会が開かれ，取組が具体化していくことだろうと思われます。

今回から3回にわたり，祖国復帰の節目の年に発行されている『郷土の先人に学ぶ』という児童・生徒用副読本から，3名の女性を紹介したいと思います。

じつは，この『郷土の先人に学ぶ』という本は，復帰25周年の記念として，昭和54年3月1日に上巻が発行されてから，翌年に下巻，翌々年に続編と3巻が発行されています。その後，40周年と50周年に1巻ずつの合計5巻が発行されています。

その5巻の中に紹介されている郷土の先人98人の内、女性については、3巻目にあたる続編以降各巻一人ずつ3人しか紹介されていません。

今回は、その貴重な3人の郷土の先人から、「社会慈善^{しぜん}に生涯をささげた奄美唯一の女性実業家 川崎タミ」を紹介します。

川崎タミは、1882年(明治15年)、父幸初喜^{こうしよき}、母マンの長女として笠利村手花部^{てけぶ}に生まれました。タミが十歳のとき、一家6人は手花部から名瀬に移住しました。タミは、母のマンが紬^{つむぎ}糸の染色を始める頃から紬^{つむぎ}織りを覚え、娘になる頃には、男にしかできない紬^{つむぎ}締^{しめこ}工の技術も修得し、男^{おとこ}勝^{まさ}りだといわれるほどになっていました。

1909年(明治42年)、教師をしていた兄の茂助^{もすけ}の転勤により、タミの家族は与論で生活をする事になりました。タミは、与論村立紬練習所の教師となって紬織^{おりこう}工の養成のために働きました。タミが養成した織工^{した}は、その後タミを慕^しって名瀬に出^{しゅつごう}郷し、名瀬・龍郷・笠利など、紬産業は全島的に広がっていきました。

与論を引き上げてきたタミは、その後結婚し、夫とともに唐^{からはま}浜の地で焼酎の製造業を始めました。これが、彌生焼酎の草分けです。当時は、琉^{りゅう}球泡盛^{きゅうあわもり}と鹿児島産の芋^{いも}焼酎^{じょうちゅう}がもてはやされていたので、画期的な事業でした。しかし、1920年(昭和9年)に夫が他界すると、タミに残されたのは、米と黒糖を原料とする焼酎製造に執念を燃やしてできた借金だけでした。全財産を売り尽くしても返済できないほどの莫大な借金がタミの両肩にのしかかりました。

それからタミは、昼夜の区別なく従業員の先頭に立って身を粉^{みこ}にして働きました。タミの誠意が天に通じたのか、「女社長のつくる焼酎はうまい、焼酎は彌生に限る」という評判が奄美諸島全体に広がり、事業経営は好調に向かいました。

タミは、大島紬^{なかつぎ}仲継業・酒類^{おろしこうりぎょう}卸小売業を起こして郷土の実業界に巨歩^{きよほ}を印し、地域産業の発展に寄与したのみならず、巨額の私財を惜しげもなく投じて、数々の社会施設の充実や学校教育の振興、母子家庭の救済などに力を尽くしました。

先日まで行われていたロンドンオリンピックでは、サッカーや卓球、レスリング、水泳、柔道などで女性の活躍が目立ちましたが、川崎タミの業績は、まさに奄美女性実業家の「金メダル」と言えるのではないのでしょうか。

来月は、「歌で村人を守った人 川上鶴松^{つるまつ}」を紹介します。お楽しみに！

以上、鹿児島県立奄美図書館でした。